

Awara News

あわらニュース vol.51

平成26年7月14日発行

「多くの人の笑顔のために」

- 障害児(者)、血液・免疫、長寿をはじめ、地域に求められる医療を提供します。
- 患者さまの目線に立って、すべての患者さまに懇切丁寧な医療を実施します。
- 医療技術、安全管理の研究・研修につとめ、より質の高い医療を追求します。
- 国立病院としての公共性を確保のもと、効率的で自立した病院経営を推進します。



「看護の日」記念行事 健康応援フェアを開催して

副総看護師長 千家 千里

5月29日(木)、セントピアあわらにおいて、看護の日記念行事「健康応援フェア」を開催しました。当日は、初夏をおもわせる暑い日差しの中、47名の来訪者がありました。

今年度は、例年の血圧・体脂肪・骨密度などの測定に加え、健康講演として西坊医師による肩こり、腰・ひざの痛み、認知症を見つける体操など新しい試みを行いました。

あわら病院は、これからも地域の皆さまの健康を応援します。

当院の後発医薬品採用について

『後発医薬品』という言葉を目にされたことのある方は多くおられると思います。後発医薬品は、先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に、開発費用が安く抑えられることから、先発医薬品に比べ薬価が安くなっています。

このため、後発医薬品の普及によって国の医療財政の改善や患者さんの負担の軽減につながることが考えられますが、日本では後発医薬品の数量シェアは約40%であり欧米諸国と比較して普及が進んでいないのが現状です。

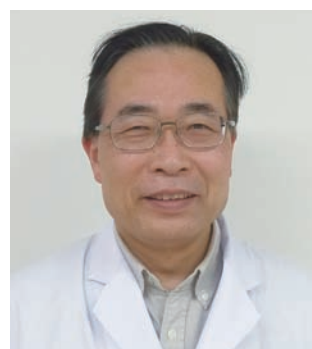
厚生労働省では、平成30年3月末までに後発医薬品の数量シェアを60%以上にするという目標を掲げ、後発医薬品の使用促進のための施策に積極的に取り組んでいます。当院でも後発医薬品の積極的な採用を進めているおり、平成25年度には大幅な後発医薬品への切り替えを実施いたしました。その結果、後発医薬品の数量シェアが70%を超え、前述の目標を既に大きくクリアしております。また、当院では新規で採用する医薬品についても後発品の存在するものに関しては積極的に後発品を採用し、先発医薬品を採用しているものに関しても新たに後発医薬品が

上市された際には随時後発医薬品への採用切り替えを検討・実施し、薬剤費の抑制に努めております。

当院でお薬の処方を受けられる患者さんの中には先発品から後発品への切り替えによって処方されるお薬が変わったと感じた経験をした患者さんもおられるかと思います。「これま

でもらっていたお薬と違うけど…？」等の疑問がございましたらご遠慮なく薬剤師にお尋ねいただきますようお願いいたします。

地域の医師・薬剤師の先生方におかれましても、当院ではご紹介いただいた患者さんにつきましては採用のある医薬品は後発医薬品で調剤させていただいております。ご不明な点等ございましたらお問い合わせいただければ幸いです。



薬剤科
谷 克也

神経難病レスパイト入院について

神経難病患者さんの在宅療養生活は医療的な管理を必要とすることも多く、ご家族の介護負担も大きいと思われます。

当院ではご家族の介護負担を軽減し、安心して在宅療養生活を継続していただけるように『神経難病レスパイト入院』の受け入れを行っています。

現在ご利用されている患者さんの疾患は筋萎縮性側索硬化症(ALS)・多系統萎縮症・多発性硬化症・筋ジスト

ロフィー・パーキンソン病などです。他の神経難病患者さんのご利用についても検討させていただきますのでご相談ください。

定期的なご利用や介護者の急病、冠婚葬祭時、また初めての方には『体験レスパイト入院』など、お一人おひとりに合わせたご利用方法が選べます。レスパイト

入院中には、意思表示困難になる前にコミュニケーションの方法についてもりハビリ科が中心となり関わっています。

当院は福井県の最北端に位置しており、レスパイト入院のご利用には交通手段の問題もありましたが、平成23年にリクライニング車椅子での乗車ができる福祉車両を導入し、片道1時間程度の送迎も可能となりました。また、病状上必要があれば看護師の同乗も行っております。

レスパイト入院はご家族の十分な介護で在宅療養生活を送られている患者さんにとってあまり気の進まないことかもしれませんが、在宅療養生活を支えるための支援につながるのではないかと考えております。レスパイト入院ご希望の際には地域医療連携室にご相談ください。



地域医療連携室
嶋 真紀



地域医療連携施設のご紹介



あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

医療法人 恵仁会 柴田医院



当院は、昭和59年11月、あわら市二面の温泉地に開院。今年30周年の節目を迎えます。

スタッフは、医師1名、看護師3名、事務4名、看護助手2名です。

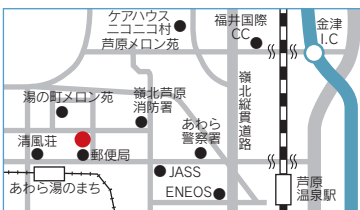
整形外科では、腰痛・肩こり・関節痛の治療と手の外科を中心に、形成外科では、黒子(ほくろ)などの皮膚疾患を含め3000例以上の手術も行っています。

内科では、禁煙外来も含め、他の病院の専門の先生方にご協力して頂き、よりよい医療を提供できるようにしてまいりました。

また、関連施設には、特養芦原メロン苑、湯の町メロン苑、ケアハウスニコニコ村があり、地域医療を担うとともに福祉事業にも取り組ん

でいます。

今後とも、あわら病院の御協力のもとに医療・看護・福祉の提供が出来るよう取り組んでまいりたいと存じます。よろしくお願いいたします。



医療法人 恵仁会 柴田医院

〒910-4103 福井県あわら市二面4丁目109番地
TEL (0776) 78-6263 FAX (0776) 78-6282

診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
午前 (9:00~12:30)	○	○	×	○	○	○	休診日
午後 (3:00~6:30)	○	○	注(1)	○	手術 注(2)	注(3)	水曜午前・ 日曜日・祝日

但し、物療は 午前 8:30~12:30
午後 2:30~6:30
注(1) 午後 3:00~6:00
注(2) 手術を行っている場合があります。
(物療は 午後 2:30~6:30)
注(3) 午後 3:00~6:00
(物療は午後 2:30~6:00)
※禁煙外来は予約制です。事前にお電話にて予約を承ります。

あわら病院「看護の日」の看護フェアに寄せて

3階病棟看護師長 山口 栄子

5月12日はナイチンゲールの誕生日です。その誕生日を記念して、「看護の日」が制定されています。毎年、看護協会や病院・医療法人単位等で様々な場所で「看護の日」の記念行事を開催しています。

当院では「看護の心をみんなの心に」をメインテーマとし、去る5月29日(木) 13:00~16:00まであわらの温泉街の「セントピアあわら」において、恒例の「看護の日」記念行事を開催しました。

今年度は、病院の取り組みとして主にサービス・広報委員会が担当し、医師・放射線科・栄養管理室の協力により、いつもと少し趣向の異なった行事となりました。

毎年恒例の体重・身長・血圧・体脂肪・骨密度測定や医師・管理栄養士による相談のほか、初めての試みとして、内科医の西坊医師による特別講演「体操で見て治す肩こり・腰痛・膝の痛み」「体操で見つける認知症」と題し簡単な体操講座も行いました。また、健康な私たちが普段あまり手につくことがない、栄養補助食品の試飲・試食コーナーを設け、来場された皆様には大変好評を得ました。

イベントに先立ち、病院内で川柳や俳句を募集したところ35句集まり、その中から、4句を選ばせていただきました。院長賞「波のよに 揺らぐ大麦 黄金色」 副院長賞「ありがとう この一言が ままならぬ」 事務長賞「看護の道 決めた志 日々忘れず」 総看護師長賞「新ベッド 寝ごちいいな 五月の風」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。また、絵画や手芸作品等の出展も重ねてお礼申し上げます。

来年は、さらに地域の人々の健康を考えた催し物を実施していこうと考えています。皆さん、ぜひお立ち寄りください。



外 来 担 当 医 表

(平成26年7月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総 合	内 科	津 谷	大 槻	見 附	(交替制)	青 山
	小 児 科	大 坂 *	川 満 *	大 坂 *	大 坂 *	川 満 *
専 門	血液・リウマチ			津谷／浦崎 *	津 谷	
	痛 風				津 谷 *	
	生 活 習 慣 病			西坊 (第1・3)		
	老 年			桐場 (第2・4・5)		桑 田
	神 経			林 (第1・3・5)		
	循 環 器	見 附	見 附			
	小 児 神 経		川 満			川 満
	外 科	齊 藤	齊 藤	齊 藤	齊 藤	齊 藤
	整 形 外 科	長谷川				
	眼 科				吉 岡 *	
	皮 膚 科		若 原			若 原
	地 域 ケ ア					桐 場

● 受付時間8:30～11:30 ● 黄色枠は予約制 ● *印は午後診察 ● 休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00～11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30～11:30)です。

※専門内科の午後診察は、14:00～16:00です。

熱中症にご用心

小児科医長 大坂 陽子

熱中症は「急に暑くなった日や」「蒸し暑い日」など、体が夏の暑さに適応できないときに起き、「暑い中での運動時」や「屋内でも風通しが悪く、暑くて蒸す部屋にいる場合」にもなりやすいです。重症では全身の臓器がダメージをうけて命にかかります。小児や高齢者は暑さへの順応性が低いので注意してください。

熱中症には頭痛、吐き気、めまい、しびれなどの症状がありますが、「ちょっと調子が悪い」「気分がよくない」という状態を放置しているうちに、深刻な症状になるケースが多いのも恐ろしいところです。

熱中症の予防には、「日よけ、クーラーなどで暑さを防ぐ」、「体調が悪いときには無理して運動や作業をしない」、「運動や作業の前からスポーツドリンクなどを飲用する」、「日陰で風通しの良い場所でこまめに休憩をする」のが有効です。なお、熱中症から回復しても体にダメージが残っていますので、しばらくは無理をせず安静にしましょう。



独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北湯238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249

〈地域医療連携室〉TEL.79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261

URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
呼吸器科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教 育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)

- ①京福バス(北湯花萱蒲園行き、あわら病院前下車)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]
- ③当院シャトル便(直通) [8月29日で運行休止]

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)

- ①京福バス(あわら湯の町駅で乗換)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]
- ③当院シャトル便(あわら湯の町駅経由) [8月29日で運行休止]

※出発時間は、受付に備え付けの時刻表、
またはホームページ(交通案内)をご覧ください。